

平成24年度 地方公共団体定員管理研究会（第2回）

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年10月29日（月） 10：30～12：00

開催場所：総務省内会議室

出席委員：西村座長、浅羽委員、大窪委員、原田委員、廣澤委員
(委員は五十音順)

2. 議事経過

(1) 町村の参考指標の検討

- ・ 定員モデル
- ・ 定員回帰指標

(2) その他

3. 意見交換の概要

- ・ 町村になると R^2 が落ちてくるが、統計学的にはモデル式全体及び係数が有効であると考えられるため、公表も可能なレベルである。
- ・ 地方団体にモデル式を示し、試算職員数と実職員数を比較してもらい、実際の業務内容や委託等の状況について確認を取ってみると、数値が意味しているものがより明確になってくる可能性はある。
- ・ 定員モデルをより使いやすいものにするためには、 R^2 や係数等の意味について十分な説明を加えていく必要がある。
- ・ 定員に関する指標は使い分けができるように複数あった方が良い。また、定員モデルと定員回帰指標を団体の規模等によって使い分けても良いのではないか。